

教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成31年2月18日(月) 午後2時30分～午後4時
- 2 場 所 伊東市役所高層棟4階中会議室
- 3 出席者 1番 高橋 雄幸君 2番 井上 靖史君
 3番 山本 香織君 4番 沼田 芳美君
 5番 村上 恵宏君
- 4 参 与 教育部長 富士 一成 次長兼教育総務課長 岸 弘美
 教育指導課長 操上 俊樹 幼児教育課長 稲葉 祐人
 生涯学習課長 杉山 宏生
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 太田 靖久 主事 杉山 詩乃
- 6 会議の経過

教育長：ただ今から伊東市教育委員会2月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

(事務局から出欠報告及び資料確認)

教育長：それでは議事に入る前に会議の非公開について諮る。教議第9号「県費負担教職員人事に関する内申について」は人事案件のため伊東市教育委員会会議規則第9条により秘密会としたい。賛成の委員は挙手願う。

(委員全員挙手)

教育長：では、教議第9号については秘密会とすることを決定し、全案件終了後に審議したいと思う。

教育長：それでは議事に入る。始めに前回の会議録の確認を行う。1月定例会の会議録について修正点等はあるか。

(意見なし)

教育長：会議録を原案どおり承認してよろしいか。

(委員全員から賛成の声)

教育長：承認が得られたので、1月定例会会議録は原案どおり決定する。
会議録の署名は井上委員にお願いする。

教育長：議事に入る。教育長報告を行う。1月定例会教育長報告事項について、
主な内容のみ説明を行う。

1月22日 政策会議

23日 幼稚園長面談、教育問題懇話会

24日 東部地区青少年補導センター連絡協議会、幼稚園教頭面談、
就学援助認定委員会

25日 成人式実行委員会、文化財防火デー放水訓練

26日 善行賞授与式、伊東商工会議所青年部10周年記念式典、
伊東温泉めちやくちや市開式

28日 静東地区教育長会

29日 未来ビジョン会議

30日 区長への新年度予算概要説明会、分譲地自治会役員への新年度
予算概要説明会、伊東市政治倫理審査会

31日 全国小学生バドミントン選手権大会入賞報告

2月 1日 東部社会教育振興協議会

2日 城ヶ崎いこいの里観劇会

3日 第47回伊東駅伝競走大会、伊東文化財史跡保存会懇談会

4日 政策会議、男女共同参画プラン推進会議

5日 幼稚園長会

6日 子育て世帯ミーティング

7日 いでゆ大学閉校式、市教育研究会運営委員会

- 10日 大室山山焼き大会（神事）
- 12日 校長会、31年度伊東市各会計予算案公表、
伊豆市土肥小中一貫校視察
- 13日 静東地区教育長会
- 14日 教育問題懇話会、母親代表の教育要望懇談会
- 18日 教育委員会定例会

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：それでは、各委員からの報告をお願いします。

委員：2月3日（日）に開催した伊東駅伝競走大会の閉会式に出席した。開会式と違い、走り切った後の清々しさを感じた。佛現寺の節分祭と日程が重なり、市長などが途中退席しなくてはいけなく、少し残念であった。

杉山生涯学習課長：今年は思ったよりも混雑が無かったので良かった。来年も同じ時期になるかと思われるので協力をお願いしたい。

教育長：2月12日（火）に伊豆市土肥小中一貫校に視察に行ったが、その感想があればお願いしたい。

委員：視察に行けて良かった。新築部分と改修部分とあったが、聞かなければ分からないくらい綺麗になっていた。エアコンや電子黒板、タブレット等も整備され、教育環境もとても良いと感じた。部活動などのグラウンドのすみ分けが気になっていたが、とても敷地が広がったので上手くすみ分けができていた。伊東でやるとなると、敷地の確保が難しいと思われるので、部活動のやり方など考える必要があると感じた。統廃合するにあたって、先生方、保護者や地域の方と密に意見のやりとりをして、手紙等でもきめ細やかに伝えているのを感じた。1年目で分からない部分はまだあるとのことだったので、少し期間が経

ってからもう一度話を聞くのも良いのではないかと思った。

委員：きめ細やかな計画で地域を大切にしながら進めてきたととても感じた。まだできたばかりなので、今後の課題は明確に出ていなかった。人間関係や教育課程の繋がりが滑らかにいくのか等少し経ってからまた伺ってみたい。日々の生活のなかで細かい課題が出てくるのではないかと思う。

委員：1つの学校をみんなで作っている、みんなの力で、ということを感じた。この地域に学校を残すという意志を持って作り上げた。教育問題懇話会でも宇佐美地区に小中一貫校という話が出ていたと思うが、視察を通して宇佐美地区であれば十分可能ではないかと感じた。学年でクラスが少ないため縦割りで授業計画をしたり工夫されていた。

教育長：1年生から9年生まであり、1年生から4年生、5年生から7年生、8年生から9年生の3つで教育内容を区切っていた。中学生から学ぶことも多く、5年生の伸びが素晴らしいとのことであった。区切りが自由にできるということは良さであり、工夫次第で上手くいくのではないか。教職員も小学校と中学校両方の免許を持っている人がほとんどなので、教科の専門性が高まり、質の高い教育となっていると思われる。統廃合への反対は強くあったが、合計31回の会合を開き、丁寧に住民と意見交換を行って進めたようだ。修善寺との合併の話もあったが、土肥地区は他の地区とは合併させないという強い意志があり、土肥地区に学校を残す形となった。

委員：今回、視察に参加できず残念であった。ICT化が進んでいるという部分で、統廃合など大きなきっかけがあると一気に進められると思う。教職員が専門教科を教えることができれば、専門性が深まり、多忙化の解消もできるのではないか。柔軟性がある将来性を感じる学校モデルではないかと感じる。

教育長：統廃合という話になると、反対意見が出てくるかと思うが、ICT化

や施設の充実、教育の質の向上など、統廃合によってプラスになる部分もある。また機会があれば視察に行きたいと思う。

教育長：それでは、議題に入る。議決事項、教議第9号「県費負担教職員人事に関する内申について」は、先ほど決定した通り秘密会とし、全案件終了後に審議する。

教育長：次に、報告事項に入る。教報第17号「平成31年度小・中学校の児童及び生徒数について」を議題とする。

（**操上教育指導課長**から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：小学校において、特別支援学級の児童が増えているとのことだが、中学校でも増えているのか。

操上教育指導課長：中学校では増減はほとんどない。

教育長：次に、教報第18号「平成31年度保育園・幼稚園の園児数について」を議題とする。

（**稲葉幼児教育課長**から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：幼稚園において、前年度と比べ数字が減った園がある。通常だと、3歳児の園児数が4歳児に持ち上がるはずだが、大幅に減ったのはどうしてなのか。

稲葉幼児教育課長：園児数が減り、この先どうなるのか、という不安が保護者にある。園児数の多い園へ入園希望を変更することなどにより、園児数が減少した園がある。

委員：無償化によって保育園に流れているのか。

稲葉幼児教育課長：現時点で数字は把握していないが、少なからずいると思われる。

委員：保育園において、前年度と比べ園児数が減少している園があるが、なぜか。

稲葉幼児教育課長：保育士の確保に苦勞している状況であり、受入可能な園児数が減ってしまった。

教育長：保育士や幼稚園教諭はかなり足りていないという認識で良いのか。

稲葉幼児教育課長：公立では、臨時職員を募集してもなかなか見つからないのが現状である。民間では、市外にも幅広く運営している場合は市外からも人材を呼ぶことができるが、市内のみで運営している園は人材確保に苦勞している。

委員：民間の園間で職員賃金に格差はあるのか。

稲葉幼児教育課長：市からの補助金は国の定めにより人数に応じて一律であるが、それを人件費に使うか設備に使うか等、配分や用途は園に委ねている。

委員：保育士がいれば待機児童の解消ができるのであれば、何か支援ができないのか。

稲葉幼児教育課長：民間保育園の保育士確保を市でも連携をとり、経験のない方が勤める場合に費用を助成をする等の支援を行っている。

教育長：保育士の採用人数を1人や2人ではなく、もっと確保する必要があるように感じる。人材確保は保育の質や安定を図るためにも大切である。

教育長：次に教報第19号「伊東市立図書館の特別開館について」を議題とする。

（杉山生涯学習課長から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

教育長：ゴールデンウィークは、市の施設は統一して4月30日、5月2日及び5日を開館とする予定なのか。

杉山生涯学習課長：公民館や市民運動場等は条例や規則により、基本的に月曜

日及び12月28日から翌年1月4日までが休館でその他の祝日等は開けるといふ決まりになっている。図書館のみ祝日も休館することになっているため、特別開館日を定める。全ての施設は把握していないが、図書館以外の生涯学習施設に関しては、指定管理者により開けると聞いている。

教育長：以上で報告事項を終了する。

教育長：次に、その他「各課報告について」を議題とする。

岸次長兼教育総務課長：教育問題懇話会の進捗状況について報告する。1月23日（水）に第5回が開催され、2月14日（木）に最終の第6回が開催された。今後の予定としては、2月25日（月）16時から会長及び副会長が答申を教育長に提出する。答申については、3月の定例会で報告する予定である。

操上教育指導課長：教育指導課から生徒指導について報告する。問題行動については相変わらず小学校の方が多い。小学校では5年生が多く、中学校では2年生が多く、来年度最上級生となるので学校をリードできるような雰囲気作りができるよう指導していきたい。中学校ではネット問題が数件報告されている。全国的なニュースで、未成年が出会い系サイトを利用し事件に巻き込まれるといったことが後を絶たない。伊東市において、実態は完全に把握できてはいないが、ネットを利用し会ったことのない人とやり取りをしている状況はあるかと思う。実際に会って事件に巻き込まれた報告はないが、水面下に隠れてしまうので注意していきたい。再三再四学校では講義を行っているが、なかなか無くならないのが現状であるため、警戒していく必要がある。いじめについては、重大事案は無い。校長会にて、ほんのちょっとしたことでもいじめに繋がる可能性があるものについては認知していく意識を持ち、学校の中でも報告するシステムを作っていくことを再確認した。不登校については、小学校で1.15%、中学校で5.46%と他市町と比べても高い。教員が家庭訪問や保護者

との連絡を行うなかで、ネグレクトや親が非協力的なことも不登校がなかなか改善しない要因としてあるかと思われる。学校は、親と子の関係が切れないように支援していかなければいけないと感じる。

稲葉幼児教育課長：幼児教育課から2点報告を行う。1点目は、2月6日（水）に行われた子育て世代ミーティングについてである。保育園父母の会連合会の要望により行われ、約40人が参加した。市長の子育て支援に関する方向性の確認や、出生数を増やすため、子育てしやすい街づくりをするため、活発な意見交換が行われた。

2点目は、今年度いっぱいにて休園となる竹の台幼稚園の様子についてである。子どもたちも元気に活動していて、不安や不満もなく休園に入ることができると思われる。跡地も子どもたちが活動できる施設になるよう検討を進めていく。

杉山生涯学習課長：生涯学習課から7点報告を行う。1点目は、2月3日（日）に開催した伊東駅伝について報告する。高校男子の部で1チーム棄権し、一般男子18チーム、高校男子7チーム、中学男子7チーム、一般・高校女子8チーム、中学女子7チーム、合計47チームが参加した。天候にも恵まれ、好記録も続出し、清々しさを感じる良い大会になった。

2点目は、2月7日（木）にいでゆ大学の閉校式が行われた。全20講座を実施し、1回生が25人、2回生が28人の参加者であった。2年間で全40回実施し、皆勤者が2人いた。

3点目は、2月9日（土）にふるさと教室の今年度最終講座が行われた。全14回の講座を実施し、小学生42人が参加し、皆勤者が12人いた。静岡県青少年指導者級別認定事業の一環である「夢チャレンジくらぶ」に8人の中学生が参加した。今年度は、四季不知やNPO法人森のボランティア等の協力に

より、普段できない体験を実施できたと思う。来年度も工夫を凝らし、民間団体の協力も得ながら事業を進めていきたい。

4点目は、木下杢太郎記念館の第33回特別展について、杢太郎唯一の単独詩集「食後の唄」百年をテーマに3月12日（火）から5月12日（日）まで木下杢太郎記念館で開催する。

5点目は、図書館・文化ホール建設に向けた検討会の進捗状況についてである。図書館と文化ホールを複合施設としない方向性で検討を進めており、建設候補地と形態の決定を来年度中に先延ばしとした。

6点目は、図書館について、子どもに本に親しんでもらう事業の一環として、2月23日（土）から24日（日）にかけて、「冬のぬいぐるみ図書館おとまり会」を開催する。子どもが持ち込んだぬいぐるみが図書館にお泊りをして本を選び、持ち主に本をプレゼントする。

7点目は、江戸城石垣石丁場跡保存活用事業を来年度実施する。平成28年3月1日に国指定史跡となった江戸城石垣石丁場跡の史蹟整備を進めるためには、保存活用計画を策定しなくてはならない。市議会3月定例会において計画策定に関する条例を上程し、教育委員会3月定例会にて条例に関連する規則について審議をお願いする。

教育長：ただいまの報告について、意見・質問はあるか。

委員：ネット問題の話があったが、スマートフォン等の所持や使い方について学校の校則としては何か決まりがあるのか。

操上教育指導課長：携帯電話は小中学校には原則持ってきてはいけないことになっている。ただし、送迎などの関係で親と連絡をとらなければならない場合、学校長の許可の下、朝登校した時点で職員室に預けて金庫に保管し、学校が終わった時点で返却する形で持ってきている。利用の仕方については、お便りや

集会等で啓発はしているが、家庭に委ね、特に校則等では決めていない。

委員：休日の部活動の時も同様に持ってきてはいけないのか。

操上教育指導課長：同様に持ってきてはいけないことになっている。部活動に持ってくる必要は無いかと思う。

委員：不登校の関係でネグレクトについて、ケースワーカー等と上手く連携が取れているのか。

操上教育指導課長：伊東市ではスクールカウンセラーとは別に、専門の資格を持つスクールソーシャルワーカーを2人雇っている。学校では主に、スクールソーシャルワーカーと子育て支援課等と連携して家庭に入っている。個々のケースに対し、その都度ケース会議を開き、関係機関が集まり対応を検討している。

教育長：ネット問題は表面に見えている件数のみであるため、表面に見えない部分がたくさんあると思って、しっかり繰り返し指導をしていく必要がある。学校だけではなく、地域・社会で対応が必要なのではないかと思う。ネットで知り合った人と実際に会うことにあまり抵抗が無い子が多いと聞くので、ネットの中でしか関係を持っていない、知らない人に会う恐怖感をしっかり学んでほしい。

委員：竹の台幼稚園の跡地について、子どもたちが使える施設とはどのようなものを考えているのか。

稲葉幼児教育課長：地域の区長や関係部署に投げかけをして調整を進めている。

委員：普段から幼稚園の貸出はしているのか。

稲葉幼児教育課長：申込があった場合、幼稚園と調整し貸出は行っている。申込は多くは無いが、地域の盆踊り等で利用がある。

委員：保育園にて、ゴールデンウィークの10連休中は休日保育を実施するの

か。

稲葉幼児教育課長：通常だと休日保育を利用した場合、振替で翌週の平日のどこかを休みとするようにしている。休日保育が連続してしまうと子どもたちにとって家庭生活が不足してしまい、また、保育士の休暇の確保も難しくなるので、対応を検討している。民間園については、各園にて市の考え方を参考に決めてもらう。

委員：サービス業の方からは預けたいと要望はあるかと思うが、毎日保育園に通うのは少し可哀そうな気がする。保育士の休暇もしっかり確保してほしい。

教育長：今後の日程について確認する。

3月の定例会については、3月18日（月）午後2時30分から

4月の定例会については、4月15日（月）午後2時30分からを予定している。

教育長：それでは冒頭で決定したとおり、教議第9号を審議するが、審議は非公開とし、当局は富士教育部長及び操上教育指導課長のみ入室を認めることとする。

教育長：それでは議決事項、教議第9号「県費負担教職員人事に関する内申について」を議題とする。

（**操上教育指導課長**から資料に沿って説明）

（審議の結果、本件については原案どおり承認）

教育長：以上で伊東市教育委員会2月の定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委員 井上 靖史

書記 杉山 詩乃